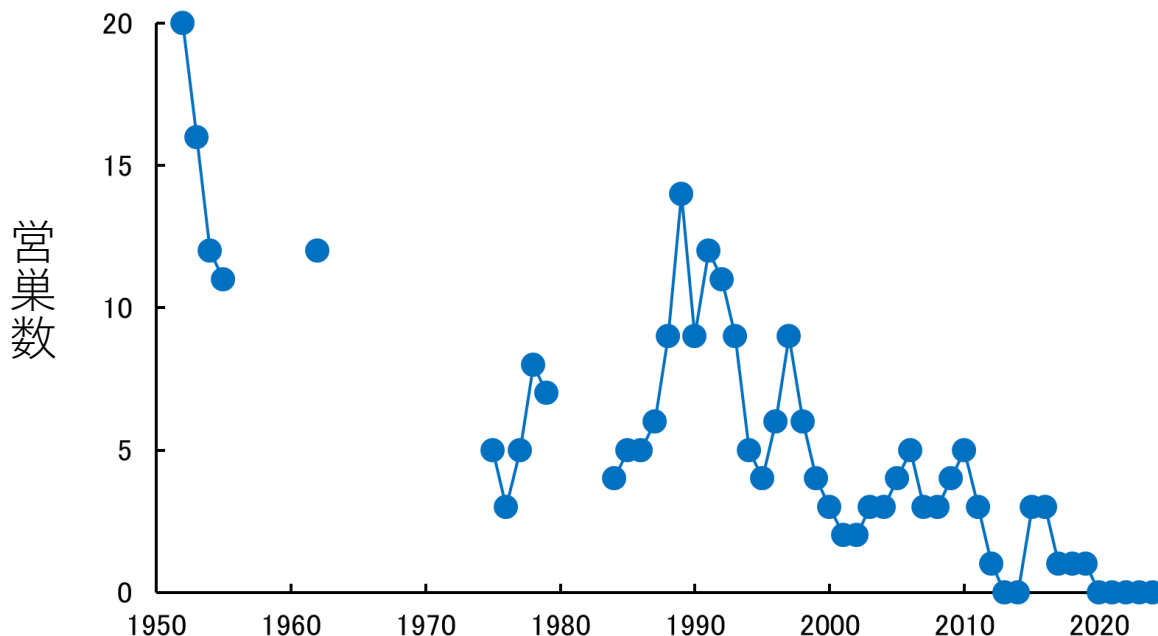


1 チョウゲンボウの営巣状況



- 2024年の営巣はなし（5年連続）
- メス個体が10月に1回、1月に3回飛来

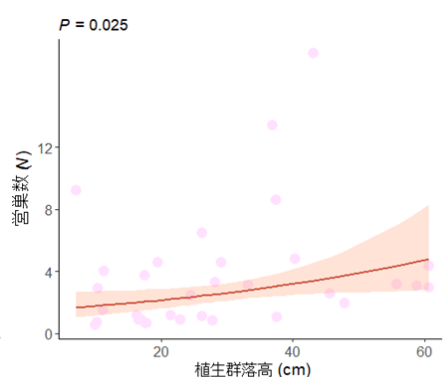
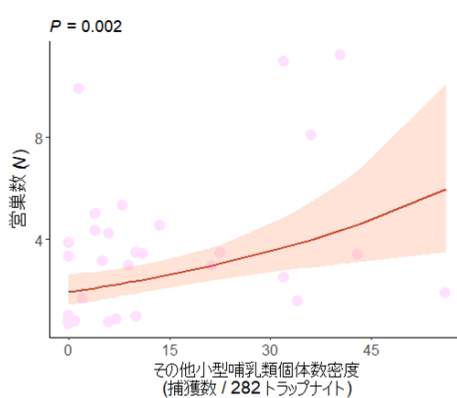
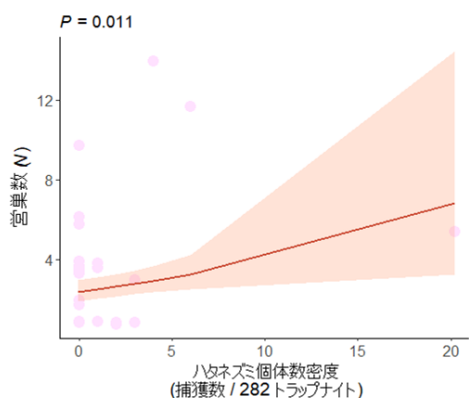
2 国庫補助事業 天然記念物再生事業 モニタリング調査

○減少理由

- ①餌場の減少（周辺の水田・リンゴ果樹園の減少）
- ②ハヤブサの定着（2010年より）
- ③崖面の植物繁茂による巣穴の減少
- ④地域個体群の減少（長野～飯山：近年は増加傾向）

目的変数と説明変数の相関係数 *: $P < 0.05$, **: $P < 0.01$

説明変数	①ハヤブサの飛来頻度		②その他の捕食者の飛来頻度		③ハタネズミの生息密度		④その他のネズミ類の生息密度		⑤小鳥類の生息密度		⑥餌場の植生被度		⑦餌場の植生群落高	
	頻度	月	頻度	月	密度	月	密度	月	密度	月	被度	月	群落高	月
目的変数 営巣数	-0.100	-0.032	-0.040	0.001	0.189*	-0.036	0.306**	-0.097	-0.172	0.010	-0.023	-0.002	0.310*	-0.209



日付	捕獲場所	足環番号	性別 年齢	翼長 (NW)	翼長 (MW)	尾長	跗蹠長	頭長	嘴峰長 (ろう膜なし)	嘴峰長 (ろう膜あり)	体重 (g)	カラーリング (左足)	GPS
6/13	岩井区 新幹線	8 A- 26180	メス 成鳥	243	256	179	41.6	51.1	14.9	18.9	197	黒06(上) 青06(下)	GPS 0 CA7
6/14	赤岩区 新幹線	8 A- 26181	メス 成鳥	239	248	175	41.8	49.8	14.5	21.1	203	シルバー-06(上) 青07(下)	GPS 100B

計測単位(mm)



8 A26180 メス成鳥



8 A26180 メス成鳥

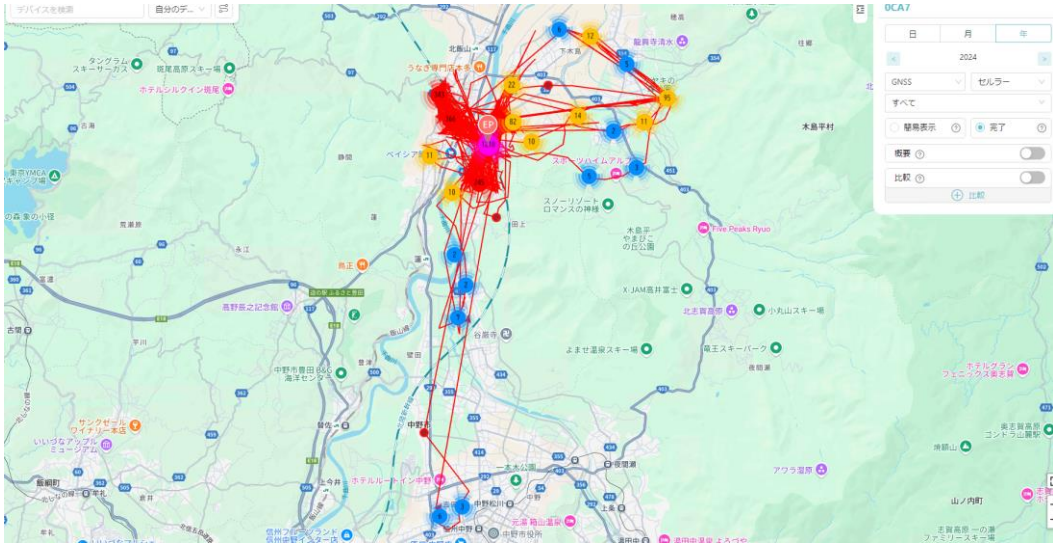


8 A26181 メス成鳥

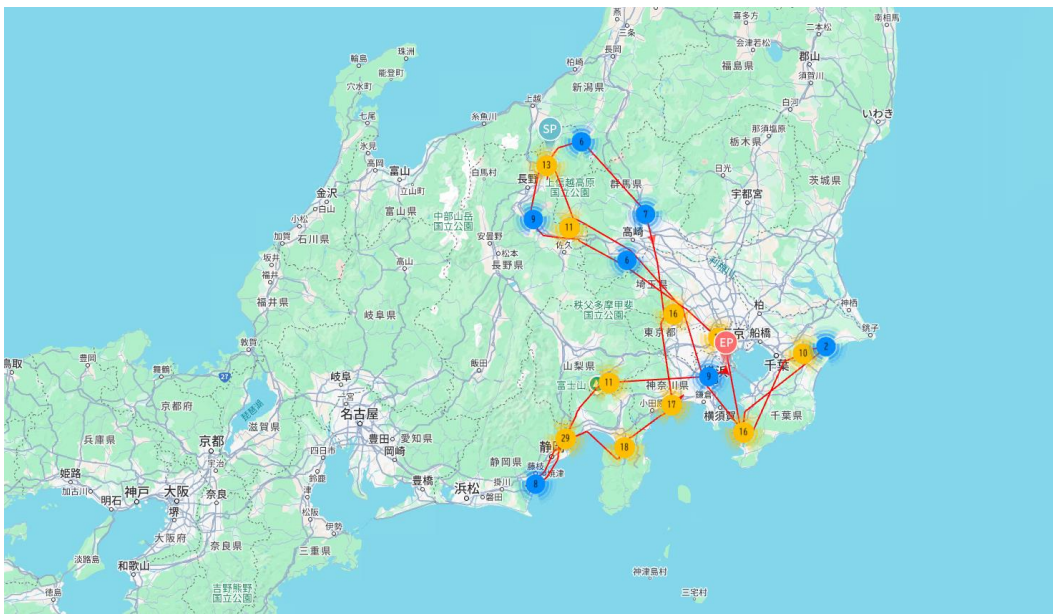


8 A26181 メス成鳥

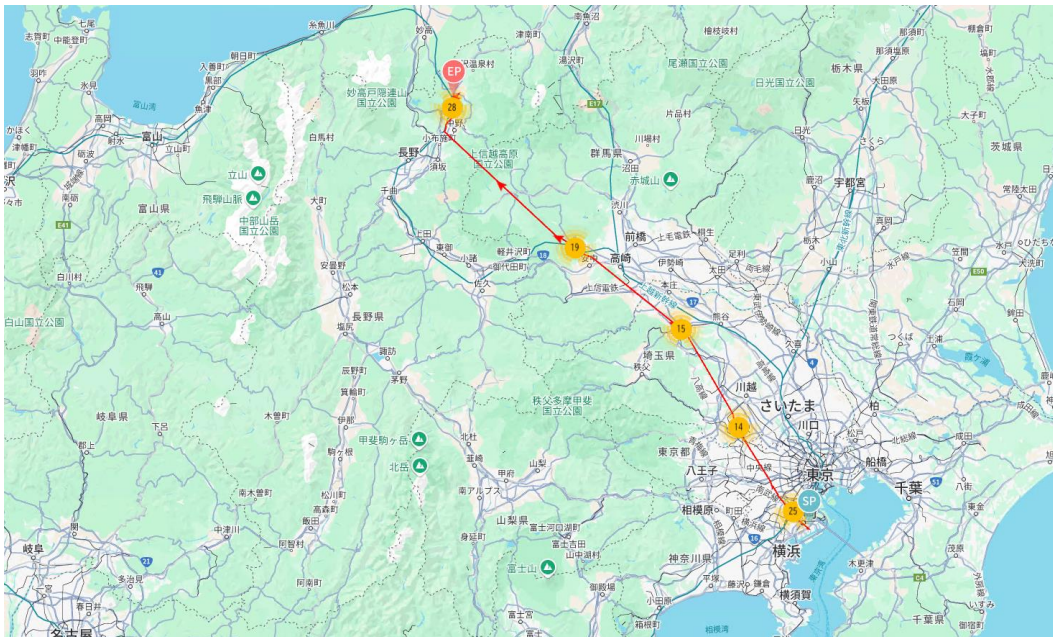
8A26180 岩井 メス成鳥



2024年6月～12月



2025年1月

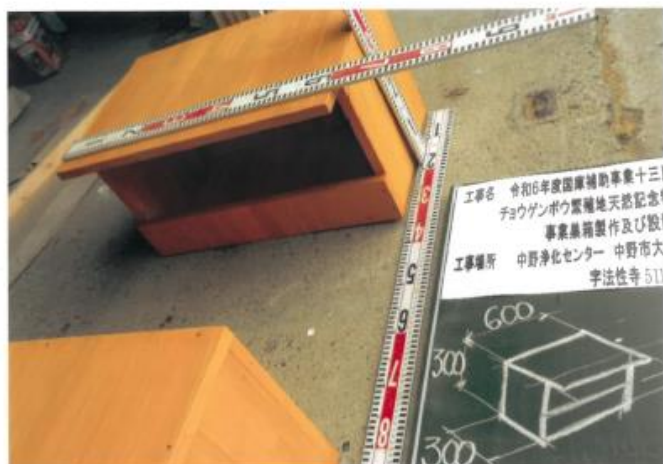


2025年2月

4 国庫補助事業 天然記念物再生事業 巣箱製作及び設置

○ 7月10日に中野浄化センターに2基設置

- ・ 付近で雌雄個体を観察したが、巣箱利用は未確認。



5 草刈り作業

○ 8月30日と10月30日に実施

- ・ つる性植物の崖への繁茂を防ぐために、崖下を草刈り（カモシカ）。
- ・ 餌場創出のために、夜間瀬川に近い位置を列状に草刈り。



6 集団営巣形成要因

- ・ 営巣場所周辺の広い餌場
- ・ 集団化による警戒時間の減少させる利益⇒天敵の存在
- ・ 越冬により南下し遅く帰還する若齢成鳥の営巣地
⇒成鳥（特にオス）は留鳥性が強い（GPS追跡調査）
- ・ 健全な地域個体群
- ・ 利用可能な多くの巣穴

7 営巣数再生のための施業

- ・ 十三崖周辺の農地の餌場化（小鳥・昆虫）⇒餌場の調査（委託業務）
- ・ 河川敷内での餌場の創出のための草刈り（委託業務）と新たな試み
- ・ ハヤブサの巣場所をチョウゲンボウの巣穴に整備
- ・ 地域個体群増加⇒巣箱設置（工事発注）
- ・ 利用可能な巣穴確保のための崖下の草刈り（委託業務）